

資料 6

令和 3 年度 各機関の取組

■ 阿南市洪水ハザードマップ印刷、配布・周知

阿南市では、令和2年度から洪水ハザードマップの策定を進めています。令和3年度においては、データ版の公表後に、冊子版の印刷物を作成し配布・周知を行います。

洪水ハザードマップを水害時の住民の避難に有効に活用するため、説明会や様々な機会を通じて継続的に周知するとともに避難訓練、防災教育等での利活用の取組みを積極的に行っていきます。



《令和3年度作成予定》

■ 小松島市防災士資格取得支援補助金交付事業

■ 小松島市職員防災士資格取得事業

地域防災力の向上のための人材育成として、小松島市民等に対し、防災士の資格取得に係る費用助成を、今年度より始めます。

また、市職員に対しては、昨年度から4年計画で全職員の資格取得を目指しています。



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
(南川排水路新設)

被害対象を減少させるための対策
(ひろばの整備)

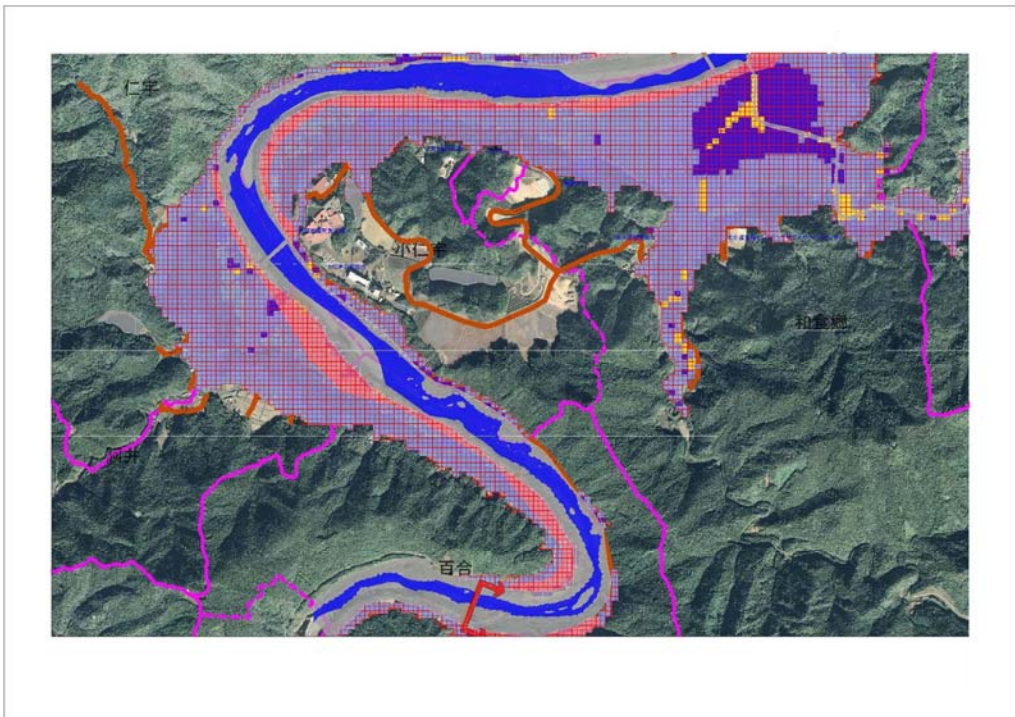
- 平成26年に大規模な床上浸水被害が発生した鷲敷地区では、徳島県床上浸水特別緊急事業による堤防工事が完成。
- 堤防内に内水が溜まらないよう、自然流下により那賀川の支川(南川)の上流域へ排水する水路を新設。

- 徳島県の堤防盛土材として利用した那賀町鷲敷地区跡地を「防災ひろば」として広場を設置し、必要に応じ多目的に利用。



◆那賀町ハザードマップ(HP)の更新

想定最大規模降雨における浸水エリア想定図を、鷲敷地区から長安ロダム下流域まで拡大する。



■ ダムと堤防の一体的整備による洪水時の浸水被害の軽減

県南部に甚大な水害をもたらした「平成26年台風第11号」と同規模の洪水を安全に流すため、国が進める長安口ダム改造事業と、下流の十八女地区や阿井地区などの堤防整備を一体的に推進し、浸水被害の軽減を図る



eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」の提供

～台風・豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動を学ぶ～

eラーニング教材の特徴

- ・ 時間や場所を気にせず誰でも自由に受講できるよう、気象庁ホームページで公開。
- ・ 5つのステップで、自宅の災害リスク、いつ、どこへ避難すべきか※を学習。
- ・ 各ステップごとのふりかえりテストで、重要ポイントを確認しながら学習。
- ・ 誰でもスムーズに学習できる、動画（各15～20分程度、音声解説付）形式の教材。
- ・ できるだけ一方的な説明・解説を避け、受講者にも一緒に考えてもらう教材。

※ 内閣府が「避難の理解力向上キャンペーン」として全国展開する「避難行動判定フロー」「避難情報のポイント」を基本とする内容（内閣府公開資料） <http://www.bousai.go.jp/fusuigai/typhoonworking/pdf/houkoku/campaign.pdf>



パソコンやスマホ等で時間や場所を気にせず自由に受講（住民の皆さん）



音声解説付き動画教材

アドレス：<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jma-el/dounigeru.html>

学習する5つのステップ

- ステップⅠ | 避難を行うためのポイントを理解しよう
- ステップⅡ | あなたの家の「災害リスク」を知ろう
- ステップⅢ | 大雨の時の避難先
- ステップⅣ | 「避難行動」を考えよう
- ステップⅤ | あなたの避難のタイミングを考えよう

台風・豪雨時に備えて
・ 自宅の災害リスク
・ いつ避難すべきか
・ どこへ避難すべきか
...が学べます。



徳島県立西部防災館主催のイベント「令和2年度まなぼう祭（10月23日）」での防災学習にもeラーニングを利用してもらっています。

※本教材は、諏訪清二先生（兵庫県立大学 特任教授、防災学習アドバイザー・コラボレーター）の助言を受けながら制作しました。



那賀川水系大規模氾濫減災協議会 令和3年度 取組

取組

- 円滑かつ迅速な避難行動のための取組
 - 円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項
 - 水位計・CCTV等の整備

【四国地整】

那賀川上流に簡易型河川監視カメラの設置を予定しています。映像公開時期は一部を除き令和3年出水期頃を予定しています。画像はWEBサイトである「川の防災情報」から確認することができます。

CCTVカメラ・簡易型河川監視カメラ設置位置図



那賀川水系大規模氾濫減災協議会 令和3年度 取組

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(3) 円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項

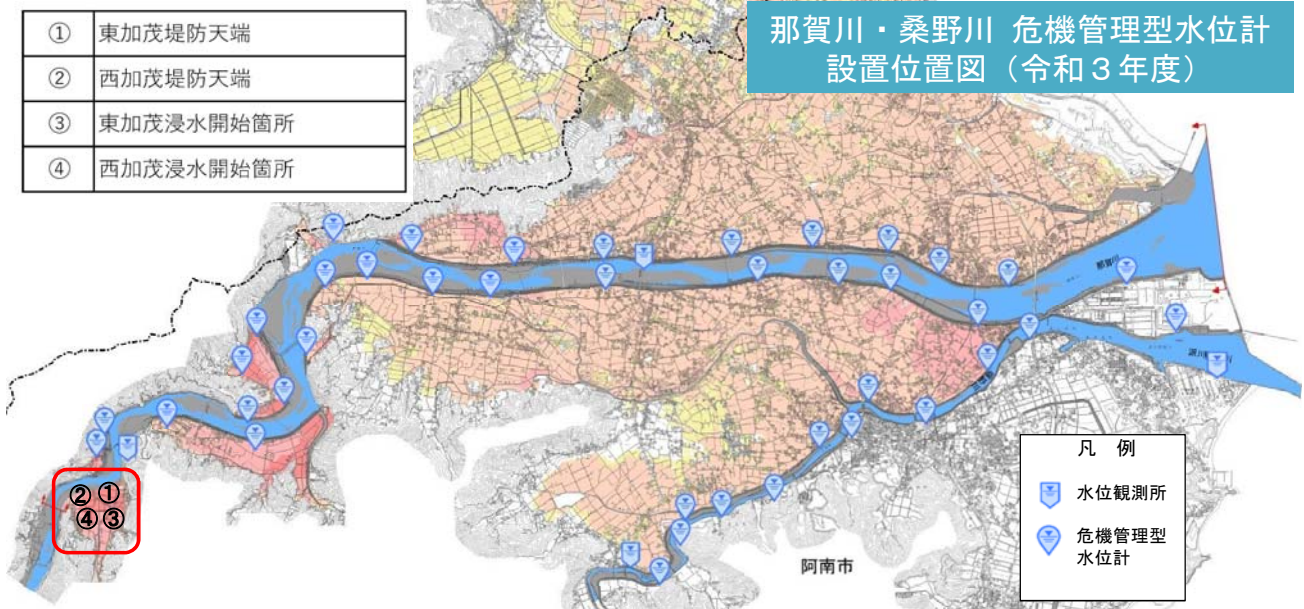
③ 水位計・CCTV等の整備

【四国地整】

新設された加茂堤防に2箇所、内水が懸念される地点にも2箇所、計4基の危機管理型水位計の追加設置を予定しています。令和3年度中の設置を目指します。河川の水位が一定以上になると、WEBサイトである「川の水位情報」から確認することができます。

①	東加茂堤防天端
②	西加茂堤防天端
③	東加茂浸水開始箇所
④	西加茂浸水開始箇所

那賀川・桑野川 危機管理型水位計 設置位置図 (令和3年度)



那賀川水系大規模氾濫減災協議会 令和3年度 取組

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑤ 住民等が避難行動を行うためのセミナー等の開催

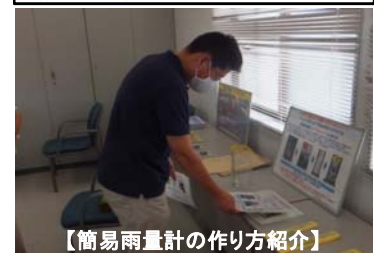
【阿南市、四国地整】

阿南市と那賀川河川事務所は令和2年度より、阿南商工会議所防災啓発チームと協働で「逃げ遅れゼロセミナー」を開催しております。

各地区の自主防災組織の方たちを対象に、避難の必要性の講話、被災地視察報告、浸水想定区域図、浸水ナビの実演、タイムライン、感染症に対応した避難所運営等の内容で実施し、住民等が避難行動を行うきっかけについて考えて頂きました（新型コロナ対策済み）。

合わせて、避難時に水没した道路状況を確認するための棒の使い方や、避難の目安を考えるために活用できる自宅で雨量を計る「ペットボトルで簡易雨量計を作る方法」について紹介しました（協力：四国防災共同教育センター）。

令和2年度は、領家・吉井地区の2か所で開催しましたが、令和3年度においても積極的に開催し、地域住民の防災意識の向上に努めます。



那賀川水系大規模氾濫減災協議会 令和3年度 取組

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

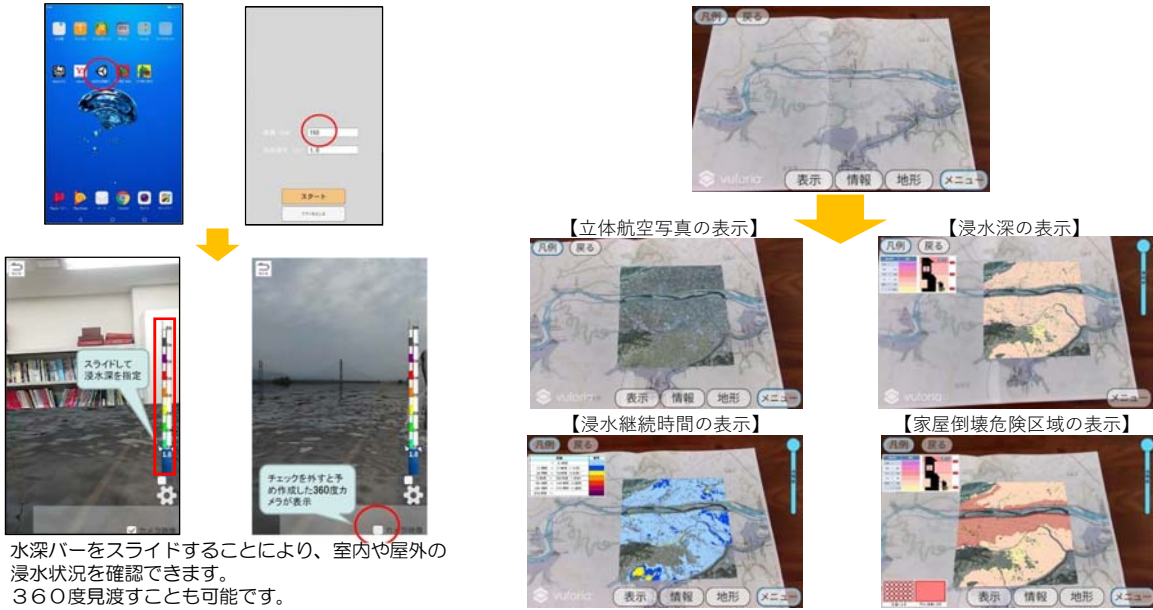
(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑦ 出前講座等を利用し水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施

【四国地整】

国土交通省ではARを活用した浸水体験コンテンツの作成を進めております。想定最大規模降雨による浸水状況をAR体験いただくことで、防災意識の向上や浸水対策にお役立ていただけます。

今後は、出前講座等にて周知を図っていきます。



那賀川水系大規模氾濫減災協議会 令和3年度 取組

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

① 想定最大規模降雨等による洪水を対象とした浸水想定区域の指定及び浸水シミュレーションの公表

【四国地整】

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）災害を鑑みて、激甚化する浸水被害へ対応するため、長安ロダムではダム下流域の想定最大規模での浸水想定図の作成と併せて流量規模別の浸水想定図を作成し、流域住民の皆様へ平時から「何処が」「どれくらい」浸水するかを知って頂き、洪水時の円滑かつ迅速な避難行動に活用して頂ければと思います。

